



復刊第170号
題字 吉岡彌生

巻頭言

—使命感をもって時代の潮流に—

副会長 加藤 竺子

希望と期待で迎えた21世紀だったが、昨年の9月11日の米中核同時多発テロ事件を契機に世界はテロ撲滅にむけて、見えない闘いに、不安と神経をとがらせています。その状況の中で、アメリカ・ソルトレークシィで開催された21世紀はじめての冬期オリンピックは無事スポーツの祭典の幕を閉じました。七十七の参加国、地域の選手の熾烈な競争をテレビで見ながら世界の競争に勝ち続けることのむずかしさ、四年前の長野の栄光は何だったのかと、競争社会の厳しさを思い知らされました。

一方、わが国の経済不況は予想以上に、行政改革なくして、持続可能な発展なしと、小泉首相は意欲をみせてはいますが、具体的な改革の実態がみえて来ないので、不安はぬぐえず、身近な倒産や失業、デフレの進行等、経済不況の中で4月からのペイオフをひかえ、国民の政治不信と、社会不安はつのるばかり、一体どんな時代が来るのでしょうか。

私たちともっとも関係の深い医療の分野では、医療改革関連法案が臨時閣議で決定され、今国会に提出されていますが、採決されれば、患者の自己負担額の引き上げが10月からサラリーマンの三割負担は来年4月から実施されることになり、患者の受診数は影響されるでしょう。低成長、少子高齢化という厳しい将来見通しのなかで日本が誇る国民皆保険制度を維持しながら、国民が納得する医療制度の抜本的改革改善をはかることが出来るのか？ 改革にどんな痛みが伴うのか、大切なことは、

日進月歩の世界の水準に遅れないよう、医療提供側の質の向上、研究体制の強化は疎かにせず国民が安心して、良質の医療を受けることが出来る制度の実現を期待したいものです。

問題となる医療費の財源問題を含めて、早急にグランドデザインを示し、国民的理解とコンセンサスをとりにけることが必要ではないでしょうか。

常に持続可能な発展を目指す、右上がり思考は望ましいが、これからの不況時代には、価値観の問い直しも必要であろうし、無駄をはぶき、効率性をたかめ、自己管理能力を引き出し、医療に医師と患者の信頼関係の強い絆の構築を互いに努力すべきではないかと思えます。

環境問題一つとて見ても、地球の持つキャパシティを越えて、自然環境と人類が共存しつづける成長の限界があることを、私たちは忘れていないでしょうか。世界の賢人たちがローマで地球環境の危機について、地球の有限性、成長の限界についての警告を発したのは1968年、あの先見性のあるローマクラブのメッセージが思い起こされます。あれから三十年余り、地球環境は改善どころか悪化を辿っている現実を思い、京都議定書の世界的同意さえななか得られないという政治の視点に胸が痛みます。

さて、日本女医学会は来る5月18日

もくじ

巻頭言……………加藤 竺子 (1)

創立百周年記念式典にぜひご出席を……………石原 幸子 (2)

中東の女性団体との交流について……………橋本 葉子 (2)

お国違えば……………角田由美子 (3)

中東の女性団体との交流事業……………平敷 淳子 (5)

*

「厚生労働大臣賞」をいただいで……………前田 慶子 (5)

「医療功労賞(東京都)」を受賞して……………川田 仁子 (6)

2004年第26回国際女医学会議を成功させよう……………平敷 淳子 (7)

私の禁煙推進活動……………山本 蒔子 (9)

清水友代先生を偲んで……………古屋 節子 (9)

松岡宏子先生を偲んで……………藤田 邦子 (10)

留学体験記……………若菜 勢津 (12)

私の大学 日本医科大学……………前田 美穂 (12)

「新刊紹介」解體母性新書を読んで……………山崎 康子 (13)

* 社団法人日本女医学会第47回定時総会のお知らせ…………… (4)

* 平成14年度「児童福祉週間」のお知らせ…………… (7)

* お知らせ…………… (9)

* 新医学用語辞典…………… (10)

* 百周年記念事業寄付者一覧(第2回)…………… (11)

* 理事会議事録…………… (13)

* 会員動静…………… (16)

* 編集後記…………… (16)

に創立百周年記念の式典・祝賀会を開催いたしますが、皇族のご臨席がいただけることで、会員一同大変に光榮に存じております。明治35年に前田園子女史により、日本女医学会が創設されて以来、多くの先輩の努力により、女性の専門職として、国民の医療・福祉に貢献し、女性の地位向上につくした役割は大きかったと思えます。21世紀は女性医師の活躍の時代ともいわれています。現

創立百周年記念式典にぜひご出席を

日本女医学会創立百周年記念式典・祝賀会実行委員長

石原 幸子

社団法人日本女医学会は今、百周年を迎えようとしております。百周年の善き日に巡り会わせられた幸せを、本部一同心に噛みしめて、その準備を進めているところでございます。なお、今回はICSというコンベンションサービスを使い、様々な仕事をお願いしました。諸々不行届の点もあつたこと存じますが、ご容赦くださいませ。会員諸姉には、寄付やら、その他のご協力について、よろしくお願い申し上げます。いつもながら

諸先輩のいち早い対応に、心より感謝しております。最近特に、若い医師の参加が少なく、私どもは将来を危懼しておりますが、この祝典を機会に大いにアピールして行きたいと考えております。皇室を始め政財界、医療界に多くの招待状をお出し致しました。厳粛な祝賀会と別に、種々の楽しい企画を致しております。百年に一度しかないこの日に多くの会員諸姉のご出席を心から願っております。

中東の女性団体との交流について

会長 橋本 葉子

中東の女性団体との交流事業は、外務省と国連NGO国内婦人委員会の協力によって実施されております。国連NGO国内婦人委員会の加盟団

I 日本・ヨルダン・エジプト・パレスチナ女性交流訪日団

月 日	内 容
2月25日(月)	訪日団来日
2月26日(火)	外務省表敬訪問、女性と仕事の未来館でのクローズドデイスカッション・テーマ「働く女性に対する法律上の制約、事実上の制約」、外務省のレセプション
2月27日(水)	最高裁判問、日本弁護士連合会訪問、国会見学、参議院議員会館会議室において女性国會議員との懇談、ヨルダン大使公邸でのレセプション
2月28日(木)	横浜関内ホールでの市民公開フォーラム・テーマ「イスラムの女性たちは今ー女性と法律」(NGO委員会、女性法律家協会、かながわ女性会議の共催)、ウエルカムパーティー
3月1日(金)	バスで東京へ移動、さよならディナー
3月2日(土)	訪日団成田出発
3月3日(日)	

2月頃中東からの訪問団を受け入れるというスケジュールが多いのですが、昨年9月11日の同時多発テロの影響で、秋に予定しておりました中東訪問は延期されておりました。2001年度の交流事業は、「女性と法律」をメインテーマとし、前記のスケジュールで行われることが決定いたしました。

II 日本から中東への訪問団スケジュール

日本からの訪問団は、日本女性法律家協会から三名、婦人国際平和自由連盟日本支部(WILPF)から一名、日本BPPW連合会から一名、日本女医学会から一名の計六名で編成されました。日本女医学会からは橋本が参加します。

月 日	内 容
3月10日(日)	成田出発、パリに一泊
3月11日(月)	アンマン着
3月15日(金)	ヨルダンに滞在
3月19日(火)	カイロ着 エジプトに滞在
3月20日(水)	カイロ発 成田着

ヨルダン・エジプトの訪問先で各自何らかのプレゼンテーションをするので、今回のテーマ

マが女性と法律であることを考え、私は「選択的夫婦別姓」の問題を採り上げたいと考えております。2001年度から主な経費は外務省の正式予算に計上されました。2002年度の担当団体は日本女医学会になっておりますので、創立百周年記念行事が終わりましたら準備を始めなければなりません。中東の女性団体からは「母子と健康」をメインテーマとして欲しいとの要望が出ております。日本女医学会といたしましては出来るだけ要望に添えるよう準備するつもりでおります。

お国違えば

— 中東からの訪問団をエスコートして —

渉外部 角田 由美子

私たちは動物ではない。こんな刑務所のような所に閉じ込めて、ここでは食事は出来ない、すごい剣幕のどなり声に、一足遅れで昼食会場に入った橋本会長と私は立ちすくみました。

第9回日本・ヨルダン・エジプト・パレスチナ女性交流の会は、公式プログラムはすべて終了、最後のお

クローズドデイスカッション、一回は市民公開フォーラムを開催するのが慣習になっております。われわれもクローズドデイスカッションは東京で、市民公開フォーラムは他の地域で行いたいと考えておりますが、まだ決定していません。生活習慣や宗教の異なる中東の女性たちと、少しでも理解し合える接点があることを期待しております。日本からの訪問団は日本女医学会から三名、他の団体から三名、計六名、時期は2002年10月か11月に実施したいと考えております。会員皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。(2002年2月22日記)

楽しみとなった箱根への一泊旅行を残すのみとなって、そこに次期担当団体からということで会長と私が同行しました。

3月1日、江の島湘南ホテルでの昼食会から合流したのですが、訪問団の女性たちはイスラム教徒で、豚肉、海老は食べられず、それらを使ったスープもダメ、アルコール類も

腎不全に伴う 高カリウム血症に!

— 血清カリウム値のコントロール —

Ca型陽イオン交換樹脂・血清K抑制剤

カリメート®

日本薬局方 ポリスチレンスルホン酸カルシウム

【特徴】

- カリメートは1日15~30gの投与により血清K値を約1mEq/L抑制します。
- 腎不全におけるカリメート使用時にはNa型レジンを併用し、血清NaおよびP値の上昇、血清Ca値の減少、体重の増加は認められません。
- カリメートはCa型の為、Na制限の患者にも使用出来ます。
- カリメートは微粒子が粘膜を經由して、細胞内皮系に沈着することのないよう5µm以下の微粒子を、除去しています(0.1%以下)。

【使用上の注意】

1. 一般的な注意
 - (1)過量投与を防ぐため血清カリウム値及び血清カルシウム値を測定しながら投与すること。
 - (2)便秘に伴って結腸穿孔が現れることがあるので、投与に際してはソルビトール溶液を経口投与するなど便秘の防止に努めること。また、便秘を起こしやすい薬剤に留意すること。
2. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 - (1)副甲状腺機能亢進症のある患者(イオン交換で血中カルシウム濃度が上昇するおそれがある。)
 - (2)多発性骨髄腫の患者(イオン交換で血中カルシウム濃度が上昇するおそれがある。)

3. 相互作用

(1)併用に注意すること

- 1)ジギタリス剤(血清カリウム値低下作用により、ジギタリス中毒作用が増強されることがある。)
- 2)アルミニウム、マグネシウム、又はカルシウムを含有する制酸剤又は緩下剤[本剤の効果が減弱するおそれがある。また、これらの薬剤との併用により、全身性アルカローシスなどの症状があらわれたとの報告がある。]

4. 副作用(まれに: 0.1%未満、ときに: 0.1~5%未満、副詞なし: 5%以上又は頻度不明)

(1)重大な副作用

結腸穿孔: 結腸穿孔が現れることがあるので、観察を十分に行い、便秘、腹痛等が現れた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

- 1) 消化器: 経口
 - ときに悪心・嘔気、食欲不振、胃部不快感があらわれることがある。また、便秘を起こすことがある。
- 2) 注腸
 - ときに便秘を起こすことがあるので、メチルセルロース溶液で懸濁させて使用することが望ましい。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

6. 妊婦への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。

効能・効果、用法・用量、適用上の注意等は製品添付文書をご参照下さい。

00577

を後にして大崎のダイエーに向かうことにしました。

このバスの中で日本のことを知っていたらどうと、それぞれの分野について話しました。橋本会長は医学教育制度を、角田は医療保険制度を話し、また各国に夫婦別姓について質問しましたが、中東の国々ではあまり問題にならないようでした。日本でのこの問題にはあまり関心がないようでした。

ここでは買物時間をたっぷり取りましたが、半分の方にはお気に召さなかったようです。その後銀座の昼食会場に行き冒頭の場面になるので、バスを乗り換える都合上大きな荷物と各自8階のレストランまで持たせたこと、予約してあった個室が窓のない暗い感じの狭い部屋だったことなどに、ハードなスケジュールによる疲れも加わって、もろもろの感情が爆発したのだと思います。ヨルダンの方たちが特にクレームが強く、こんな汚ない床ではお祈りも出来ない。食事はしないからすぐホテルへ案内して！これは全員の意見だから、と荷物を持って部屋を出られる方もあり、仕方なく昼食はキャンセルしてバスを待つ時間もなく、訪問団はそれぞれに地位のある方(最高裁の判事等)、日本とは違い大きな住いに何人も使用人がいるといった生活をなさっているのだろうと思えました。だからといってこのようなクレームのつけ方が許されるとは思いませんが、折角一人につき一五〇万円もの費用を使って交流を考えるなら、お国柄の違いも考慮しなければなりません。それにしても自己主張の強さについては、われわれも負けてはいられません。

社団法人日本女医学会第47回定時総会のお知らせ

日時 平成14年5月19日(日)
場所 京王プラザホテル(電話〇三三三四四〇一一)
〒二〇一八三 東京都新宿区西新宿二二二

評議員会 午前十時～十一時
懇談会並びに昼食 午前十一時～午後十二時三十分
総会 午後十二時三十分～一時三十分
表彰 午後一時四十五分～二時三十分
午後二時三十分～三時三十分
百周年記念出版「世界最初の女性医師「エリザベスブラックウェル」の一生」
講演会 「新しい乳癌治療の体験を通して」
翻訳者大原一枝先生のご紹介
日本女医学会理事 久田 タカ
社団法人日本女医学会

今年女医学会からは、あくまでエスコート役として参加しただけで、スケジュールには全くタッチしていません。2002年度は、日本女医学会が担当団体となりますので、今回の反省点をふまえて、より良いスケジュールを組んでお迎えしたいと考えています。

昼食会場であんなにおかむりだった女性たちも、その後の原宿のオリエンタルバザールへのツアーには全員参加でお楽しみでしたし、急処個室から一般席の隅に変更した、中華料理でのサヨナラパーティーでは、終始和やかで、最後は、ありがとう、thank you、シヨコランと肩を抱き合って別れを惜しみました。さつきはごめんなさいね、私はあそこでも

よかったのよとソツと謝る人もいました。

避けては通れないテロの話、その他いろいろ聞きたいこと、話したいことは山ほどありましたが、彼女たちも英語はあまり達者ではなく、私のサバイバル英語では、当りさわりのない話しかできなかったことが残念です。

中東の女性団体との交流事業

— クローズドディスカッションに参加して —

ナショナルコーディネーター 平敷 淳子

第8回中東女性交流のイベントの口火をきいて2002年2月26日(火)に女性と仕事の未来館にて「働く女性に対する法律上の制約、事実上の制約」というテーマでクローズドディスカッションが開かれました。

ヨルダン・エジプト・パレスチナ各国からそれぞれ三名ずつの参加者は長い旅の翌日にも関わらず、用意した原稿を片手にそれぞれの国の事情を分かりやすく発表されました。特にニューヨーク多発テロ事件の後であるだけに「イスラム社会」や「イスラム教」そのものに対する説明も多々ありましたが、順不同で「パレスチナの働く女性をめぐる労働法と現実の狭間」、「エジプトの法律による男女平等」、「ヨルダンの女性と法律」、「ヨルダンの働く、とくに専門職の女性に対する法的・物理的な制約」とつづきました。

お祝い

「厚生労働大臣賞」をいただき

青森支部 前田 慶子

昨年8月20日、保健所から電話があり、このたび厚生労働大臣賞を受賞することになりました。表彰式は9月20日、山口市の市民会館で開催される母子保健家族計画全国大会の会場で行われるので、出欠を8月23日まで返事するようにとのこと。突然のことでビックリしました。

私は昭和24年から27年まで弘前保健所に勤務した以外は、全く民間人でありましたし、前年度、県知事表彰を受けたばかりでしたから、そのような賞をいただくとはまったく思ってもおりませんでしたので、何となく実感がわかず、直接大臣から賞を貰えば感激するのかなと思いつつ

世代を超えた ニューマクロライド

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤に対して過敏症の既往歴のある患者
 2. テルフェナジン、シサプリド、ピモジドを投与中の患者
- 〔添付文書「相互作用」の項参照〕

※「用法・用量」、その他の「使用上の注意」等は、添付文書をご参照ください。



マクロライド系抗生物質
クラリス®錠200錠50小服用
ドライシロップ小瓶

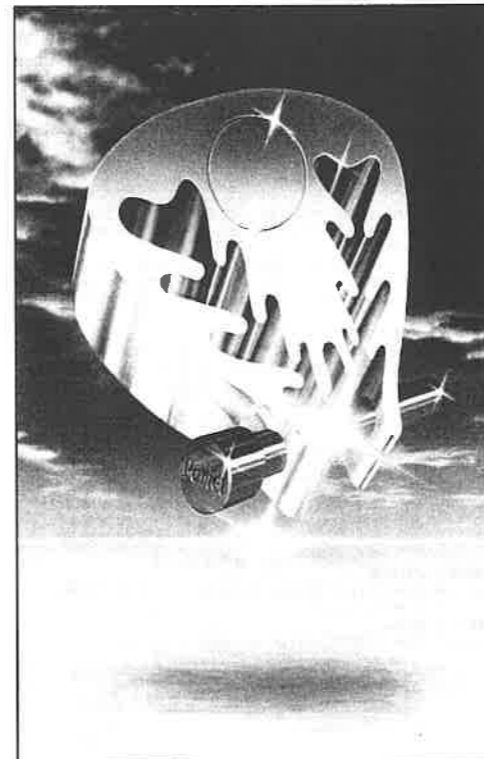
指定医薬品・要指示医薬品®(日抗基:クラリスロマイシン)
注) 注意—医師等の処方せん、指示により使用すること

大正製薬株式会社
東京都豊島区高田3丁目24番1号
電話 東京(03)3985-1111(大代表)

1999.4
CL1144A3A

【資料請求先】

〔薬価基準収載〕



指定医薬品
プロトンポンプ阻害剤

Pariet® **パリエット**®錠10mg
錠20mg

〔ラベプラゾールナトリウム製剤〕

hve
ヒューマン・ヘルスケア企業



エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
http://www.eisai.co.jp

製品に関するお問い合わせ: お客様ホットライン室
☎0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

●効能・効果、用法・用量及び使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

PT0109-5 2001年9月作成

宇部市に同級生がおりますのでその旨電話したところ、方向オンチの私を心配し福岡空港まで迎えに来てくれ、しかも二十年前スペイン旅行で一緒になった宇部医師会の先生方が集まって歓迎会をしてくれることになりました。その日は宇部市に宿泊し、ふぐ料理で旧交を温め、人のやさしい心にふれた楽しい一夜でした。

9月20日他の受賞される方々とともに、無事表彰状を頂きました。厚生労働大臣は代理の方でしたが、それなりに厳肅な雰囲気でした。今回の受賞に当って振り返ってみれば、私は昔から人にものを教えるのが大好きで、若い頃は、無知なために中絶をくり返す人の多いのを何とかしなければと、農村各地を廻り避妊の教育をしてきましたし、高校生の性教育を担当した時期もありましたが、全般的には婦人学級、老人教室など求められればどこへでも出かけ、対象が五百人でも十数人でも隔てなく、雪が降ろうが雨が降ろうがおかまいなしに健康教室に協力してきました。そのことが認められたのであれば、私が好きでやってきた事に賞をいただくということは何となく面映ゆい感じがしないでもありません。まして日本女医学会誌に感想を書くなどおこがましくしたいへん恐縮であります。

「医療功労省(東京都)」を受賞して

港支部 川田 仁子

ある日、日本女医学会会長として日頃から敬愛してやまない橋本葉子先生から、お電話を頂戴した。表題の賞について、貴女を推薦してみたいが異論が無いようならば書類一式を整えて提出するようにとのことであった。各都道府県から一〜二名の受賞があり最終的に日本の中でとな

た人々の役に立ちたいと三十歳台の亡父は志ざしたという。開成中学校を出て医師の道へ進むべきを基督者になったために勘当され、神学校を苦学しながら卒業した。明治時代にその子らに教育治療を私塾を設立した。その中に何代も続いた医者の子に産まれ育ち同じように基督者と

2004年第26回 国際女医学会議を成功させよう

ナショナルコーディネーター 平敷 淳子

2004年(平成16年)7月28日(火)から8月1日(日)まで東京の京王プラザホテルを会場に第26回国際女医学会議が開催される予定です。

日本女医学会は2001年の第25回国際女医学会議(シドニー)で立候補を表明し、絶大なる賛同を得て開催をまかされました。会員の皆様とともにこの栄光を分かち合いたいと存じます。

立候補に先立ち、国際会議誘致のための補助金を東京都から、石原慎太郎東京都知事からは会議の招聘状をいただきました。

テーマは「Medicine in a New Life Style」となりました。高齢化・少子化、環境問題から児童虐待にいた

日本女医学会初の年史が完成。5月刊行迫る!



ページ見本 年表と解説からなる「正史」の一部

日本女医学会百年史

社団法人 日本女医学会 編

●上製本・美装函付
B5判(182×257mm)
276ページ
(カラー口絵4ページ)



●日本女医学会最古の記念写真(1903年1月、東京)



●日本で初めて開催された第15回国際女医学会議(1976年8月、東京)



- 全編を通して「わかりやすさ」と「資料性・記録性の高さ」が自慢です。
- 「年表」と「解説」をセットにした1年単位の網羅的・微視的な編集で、前例のない本格「正史」を完全収録。
- 過去に学び、未来を考える「座談会」2編を収録。
- 100年をデータで見る充実の「資料編」。
- 本書の情報を多重多層に検索できる「索引」。
- 時代を雄弁に物語る「写真」をふんだんに掲載し、「目で見る資料性」も加味。

平成14年度 「児童福祉週間」のお知らせ

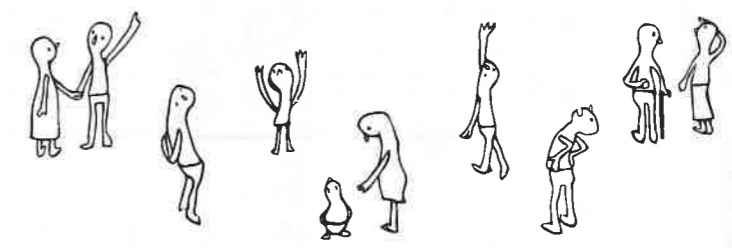
厚生労働省では毎年5月5日より一週間を「児童福祉週間」と定めて、この期間中に広く関係機関・団体の協力により、全国各地で児童福祉の推進のための各種の啓発事業および行事が展開されております。

平成14年度「児童福祉週間」概要

- 一、趣旨…国及び地方公共団体、家族、福祉関係機関、児童福祉施設、地域社会等社会全体が一体となって、各種の啓発事業及び行事を展開することにより、児童福祉の理念の一層の周知と児童問題に対する社会的関心の喚起を図るものである。
- 二、主唱…厚生労働省、(社)福全国社会福祉協議会、(財)こども未来財団
- 三、標語…心で聴こう こどもの言葉 心で観よう こどもの姿 (公募により選定された作品)
- 四、期間…平成14年5月5日(日)より5月11日(土)までの一週間

厚生労働省

いささか功績があったかと自負している。これらを何人かの方々に認めただいてこの授賞になったものと存



KIRIN 新鮮な明日へ

未来を拓く。

本当に求められている「こと」や「もの」。
医療のニーズを正しく把握し、
バイオ技術の追究を通じて、夢を現実にしていく。
キリンは、新たな医療価値の創造に
全力で取り組んでいます。

キリンビール株式会社 医薬カンパニー 〒150-8011 東京都渋谷区神宮前6丁目26番1号

私の禁煙推進活動

宮城支部 山本 蒔子

平成元年5月から、JR東日本の南東北三県に働く、およそ一万人の健康管理を行う専属産業医の仕事をするようになった。

当時、社員の喫煙率は高く、どの職場も例外なく、たばこ煙でもうも

うとしており、産業医と話す時またはこを持ったままであった。平成2年の寒い11月に、三十代の社員が突然亡くなった。たばこを一日三十本吸っていること以外にリスクは見当たらなかった。さらに続くこと四ヶ月の間に、毎月一人ずつ突然死が発症した。五名の死亡者の内、喫煙者は四名、他の一名は非喫煙者であったが、彼の職場である東北地域本社(現在は仙台支社)ビル内の安全対策室は、特にたばこ煙のひどい箇所であった。

この事件をきっかけに、私はたばこ対策に取り組み始めた。たばこの害の啓蒙を開始し、社員の働いているオフィス内の浮遊粉塵量の増加をデータとして示した。平成5年には、喫煙対策プロジェクトを地域本社につくり、地域本社ビル内の分煙

の検討を進めた。ビルに働く七〇〇人へのアンケートの結果、空間分煙をすべきとする社員は70%であった。空気清浄機や換気扇を設置した喫煙室を作り、オフィスの禁煙をルールとし、分煙は平成6年2月に開始できた。

清水友代先生を偲んで

山梨支部 古屋 節子

策を進めるにあたって、地域に核になる組織が必要と考え、日本禁煙医師連盟の宮城支部を、平成6年9月に全国に先駆け結成した。WHOが定めた5月31日の世界禁煙デーのイベントとして、「世界禁煙デー・宮城フォーラム」を平成7年以来毎年開催し、市民の啓蒙に努めた。ようやく私たちの活動も認められ、厚生省や仙台市と共催もできて、フォーラムは今年で第八回目を迎える。

謹んで先生の霊に追悼の言葉を捧げます。昨年暮にお見舞いに伺いました折

にはまだまだお元気な様子でしたので安心しておりました。先生の誕生日が1月4日でしたので「来年早

お知らせ

*百周年記念事業の一つとして、『世界最初の女性医師「エリザベス・ブラックウエルの一生」』を出版いたしました。今から百年以上も前、エリザベス・ブラックウエルは現代にも立派に通用する珠玉の言葉を残しています。日本女医学会会員の方には百周年記念としてさしあげますが、ご希望の方には販売もいたします。

著者：ライチエル・ペーカー
訳者：大原武夫・大原一枝共訳
定価：一、五〇〇円 会員特別価格一、二〇〇円(共に税、送料別)

*月刊糖尿病情報誌「ゆうゆう糖尿病」が創刊されます。会員皆様のご友人、関係各位等へのご紹介並びにご購入のご協力をお願い致します。
編集：日本医療企画
編集長：田村聡(元NHK「きょうの健康」編集長)
定価：年間購読一、二、六〇〇円(税込み九、六〇〇円、送料三、〇〇〇円)
なお、会員価格として上記料金より九六〇円引きさせていただきます。

以上お問い合わせ先
ケンコー情報ケイ TEL:03-5919-1567 FAX:03-3341-6487
e-mail: kenkou-k@buranch.ne.jp

*人材バンク登録のご協力願ひ
以前よりお願いしておりましたが、二十一世紀にむけて社会に寄与するため、多方面からのニーズにこたえるため、是非登録をお願い致します。日本女医学会事務局までお送りください。

百周年記念事業寄附者一覧 (第2回・平成14年3月26日現在)

Table listing names and affiliations of donors for the 100th anniversary commemorative project. Columns include names, branch names, and company names.

松岡宏子先生を偲んで

練馬支部 藤岡邦子

早に九十一歳になられるのね... 先生は広島県のお生まれで、山梨に参られました。旧帝国女子医専を昭和7年に卒業。日本女医会山梨支部の第二任支部長として三十二年間お勤めになられ、私どもも頼りきってすっかり甘えておりました。その間日本女医会の総会を昭和五十年にお受けし、そのリーダーシップにより小泉ながら盛會裡に終りました。また日本万博医療奉仕団の一員として副支部長小林梅子先生と参加されております。

今回日本女医会の広報部より「松岡宏子先生を偲んで」という題で原稿を送ってほしいと依頼されました。松岡宏子先生は日本女医会の理事として一期間熱心に活躍されていたと記憶しています。同時期には故福原先生、故常安先生と共に定款改定に打ちこんでおられました。本来お二人の先生がご存命なら、松岡先生のご活躍ぶりを記載いただけたことと、思いましたが、残念なことにお二人の先生共に他界され、私が拙い原稿を掲載することになりました。故松岡先生と私の出会いは東京女子医専(昭和11年入学)以来クラスメートとしてつき合わせていただいていた。

でもお幸せな人だったと思います。どうぞ安らかに、先に逝かれたご家族のおそばにおいで下さい。合掌 献句 大往生とけてすがしや寒牡丹 節子

新医学用語豆辞典

Akt/PKBの生理機構
生体内では一酸化窒素(NO)は、内皮細胞一酸化窒素合成酵素(NOシンターゼ:eNOS)の作用によって、L-アルギニンと酵素から生成され、循環器系の恒常性を維持する基本的な決定要素で、全身の血圧を調節し、血管の再編成や新生を制御している。一般にeNOSは活性発現にカルモジュリンやカルシウムイオンを必要とするヘム-フラビントンパク質であるため、NOの生成は細胞内カルシウムの調節を受けると考えられている。しかし、最近、セリン/スレオニンタンパク質キナーゼAkt/PKBがeNOSのセリン1179を直接リン酸化することにより、酵素活性が上昇し、酵素のCa2+感受性が変化して、生理的Ca2+濃度よりも低い濃度で酵素活性が最大になることが報告された。すなわちAktによるeNOSのリン酸化は、Ca2+非依存性というeNOS活性化の新しい調節機構であることを示している。

このように元気で活躍されていた松岡先生も平成7年頃から、勤務先和光市で産婦人科医として仕事を続けておられましたが、体調を崩し(心不全)大田原市に在住されているお嬢さんの近くで療養入院を繰り返すようか...

やかな最後をむかえ召天なされたことと。最後に残された学友として何とも淋しいものを感じていますが、松岡先生を偲ぶ原稿を書くにあたり、自分の生きてくことに自問し、残された歩みをどのように過ごしてよいか、人間の生命の誕生は確かに人間にとって喜びであったはず、さまざま人生を過ごし、最後にすべてを残し死んで行く、これが人間の姿なのでしょう。最後に松岡先生から人間の「生と死」について、私に心をあたえてくださったことに深く感謝し、心から冥福をお祈りいたします。

留学体験記

Department of Radiology, NMR Division
Johns Hopkins University

若菜 勢津

朝の放射線科のコンファレンスから戻ると、いつもはいるはずの研究室の仲間、今日はほとんど研究室にいない。指導教官と私は、画像の解析に使うコンピュータソフトのバグを修正すべく、コンピュータの前で、にらめっこをしている。

日本では、大学病院の放射線科で朝から晩まで、CTやMRなどの検査、読影などで、脇目もふらず、ひたすら仕事を生活を送っていたが、幸いなことに昨年7月より、米国、メリーランド州のJohns Hopkins Universityの放射線科NMR Divisionでの研究の機会に恵まれた。

渡米して、二ヶ月あまり、今日の研究室はなんだか異様な空気が漂っていた。教授は、何も知らない私たちに浮かない顔で話しかけた。「君たち知っているか? World Trade Center (WTC) に飛行機が...」

われわれの研究員の研究員は、オランダ、スイス、オーストラリア、フィンランド、中国、ブラジル、イタリア、ロシア、インド、日本と人種のつばねといえるくらい多国籍である。アメリカ人は数えるほどしかいない。それぞれ、複雑な心境で、その光景を見つめていたにちがいない。その日は、病院の救急部門をのぞき、すべて閉鎖され、何かまた、起こるかもしれないという不安を抱えつつ、帰宅の途についていた。

話は本題に戻るが、渡米して驚いたのは、アメリカの研究施設の充実ぶりである。私が単科医科大学出身であるためか、日本の大学の研究施設では、MDのみが研究しているような印象があるが、アメリカでは多くのPhDが、医学研究にたずさわっており、基礎研究がかなり盛んである。また、Grantといわれる研究費の規模や分配方法が日本とはかなり異なる。私たちのNMR Division (Radiology) 全体ではありません()だけでも数十億円単位の規模の研究費が与えられるという。昨年の一連

のテロ事件でも危機管理態勢等、アメリカの偉大さを見せつけられたが、scienceの研究面でもしかりである。日本人の私はただただ規模の大きさ、アメリカの底力に呆然とするばかりである。

また、先日私は体調を崩し、Johns Hopkins Hospitalでの外来受診を経験したが、全米Best hospitalに選ばれただけある丁寧でかつ、行きとどいたサービスに驚いた。せまい日本(特に東京)では、実現できないが、この病院では、診察室は完全個室になっており、プライバシー厳守の姿勢が行き届いていた。また、レジ

私の大学 (日本医科大学)

新宿支部 前田 美穂

日本医科大学は、明治9年長谷川泰により設立された済生学舎に端を発し、私立日本医学校、私立日本医学専門学校を経て、大正15年に日本医科大学という名称となり、昭和27年に学制改正により現在の新制日本医科大学となりました。

現在、診療は東京都文京区千駄木の付属病院、神奈川県川崎市中原区にある第二病院、東京都多摩市にある多摩永山病院、千葉県印旛郡にあ

る千葉北総病院の四つの付属病院の他に、成田空港内にある日本医科大学新東京国際空港クリニック、東京都文京区にある日本医科大学腎臓クリニックなどの併設医療機関で行われています。付属病院にある高度救命救急センターは、わが国の高度救命医療の先駆者的な存在としてその名が知れわたっており、各地から医学生が見学を訪れ、そして全国から入局者も多数集まります。また故丸山

千里先生らが開発されたヒト型結核菌体抽出物質である丸山ワクチンは、がん治療薬として三万人もの患者さんに使用されており、ワクチン療法研究施設には、現在一日平均約五〇名の新患者さんがみえています。

研究部門においても、ハイテクリサーチセンターをはじめ、基礎、臨床の教室が最先端の研究を行っています。とくにハイテクリサーチセンターは、全国の私立大学の中から高度科学技術の開発推進における拠点施設に選ばれ、遺伝子治療の基礎技術開発と非侵襲的集学治療開発をテーマに講座枠にとられない最新の研究が行われています。

最近、大学などの研究成果が産業の育成に貢献していないことが問題となり、研究によって得られた知的財産の社会への還元が必要性が論じられています。日本医科大学では基礎的研究成果と産業界への橋渡し、ならびに知的財産権の確保のために、本年、日本医科大学知的財産・ベンチャー育成センターを設置しました。これにより研究成果の社会への貢献が円滑に行われるだろうと期待されています。学生は毎年約一〇〇名の新入生が入学します。他の大学を卒業した後や、一度仕事に就いた後に志を新たに入学する学士入学の学生も比較的多くみられます。女子

『解体母性新書』を読んで

大川尚美著

神奈川支部 山崎 康子

の割合は約30%と全国平均レベルでしようか。私が医者になった当時(昭和53年)は、大学病院の中の女医の割合は非常に少なく、特定の診療科にしかいなかったような印象がありますが、最近ではほとんどの科に女性も入局するようになり、病院のなかでは珍しい存在ではなくなりました。ただ大学病院に勤務しているのは大学を卒業してから数年ぐらいたまのわたちが多く、結婚後や子どもを持つてからも大学病院で仕事を続けている女性はまだそれほど多くない

いように思います。もちろん自分に適した場所で医者として働けばよいことなのですが、大きな組織の中で女医が仕事を続けていくことは、本人の努力にもかかわらず困難なことが多いのは事実です。この問題はわれわれの大学に限ったことではないと思います。

女医会の諸先生方とともに、一生懸命頑張っている女性の努力が報われるように、私自身も微力ながら尽力していきたいと考えています。

著者は十数年のキャリアを積んだ経験豊かな小児科医です。しかし育児論でも病気の治し方の本でもありません。町の中で小児科クリニックを開業、日々の激務をこなしつつ、経験体験を通じて、母または子どもにまつわるエピソードや、自分の在り方を語ったり、オフタイムの過ごし方、恋愛観などを物語に紡いでいった結果、一冊の本が生まれました。自称「子供の嫌いな小児科医」が、真摯に母と子供に向き合っている日

日の診療風景、狭義の母性、広義の母性というネーミングのうまさ、赤ちゃんが乗ってます「カードについての考察」「興ざめな出来事」にみられる世相批判、「自分のマイナスを表現できる能力」にみる客観的な自己観察能力。にやりとしたり、こんなことまで書いていいのとか心配したりよくぞつこんでくれたと共感したりしているうちに、職業を持った一人の女性の成長物語にひきずりこまれていく自分がいます。楽しかった

理事会議事録

日時：平成13年10月27日(土)
午後3時より

場所：(社)日本女医会会議室
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、内瀧、澤口、鹿田、清水、田中、角田、久田、平敷、松井、丸茂、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(蒔)、吉崎 (以上21名)
欠席者：大坪、川田、山本(織)、野澤、松本 (以上5名)
* 9月理事会議事録を承認

報告事項
一、庶務報告 久田理事
別紙どおり報告—承認
二、会計報告 青井理事
平成13年9月分収支別紙どおり報告—承認
三、各部報告 村田理事

【事業部】 村田理事
・11月11日、仙台市で宮城支部主催

の公開講演会が開催される

【学術部】 内瀧理事
・11月17日開催の「平成13年度学術講演研修会」に多数の出席を要請
【広報部】 松井理事
・会誌168号が完成
・10月29日に百年史編纂委員会を開催

【庶務部】 鹿田理事
・10月14日富山で開催の「第5回ブロック別懇談会」の報告
富山支部より5名、新潟支部一名、愛知支部二名、理事より一〇名、計一九名出席。再び開催の要望があった

【橋本会長より】
・国連NGO国内婦人委員会の外務省よりの委嘱事業である中東女性交流(エジプト・ジョルダン訪問)は延期となった
・9月理事会以降提出された後援依頼の説明があった。理事会で検討すべきな問題であるので、依頼の早期提出を促す

協議事項

一、百周年事業の件(招待者・案内状・広報の方法について)
・招待者：国際女医会より会長・事務局長、西太平洋地域会議担当副会長、西太平洋地域五ヶ国の会長への金銭的サポートを検討する。国際女医会からの援助(交通費、ホテル宿

泊費等)を調査する
・司会：元アナウンサー・山本文郎氏に依頼し、快諾を得る
・案内状・広報の方法について：ICS作成の(案)を検討する。決定内容を次回理事会に提出する事
・寄付について
①宮城支部より寄付した企業や個人名は書面に記載されるか質問があり、その方法を今後検討する
②現在のところ、一三〇名より四三〇万円の寄付がある
③企業は「寄付金」より「お祝い金」の方が協力しやすいとの事である

二、ブロック別懇談会の今後のあり方について
10月17日の富山で開催のブロック別懇談会の報告(富山・新潟・愛知より九名、本部より一〇名出席)
今までは支部長に連絡し、支部長より支部会員に連絡してもらっていたが、各会員まで伝わっていないので、連絡方法を考える。来年度は夏・秋頃、山陰地方で開催したい
三、環境整備小委員会に関する内規(試案)
平敷理事の作成した内規を各自で考え、次回の理事会で検討する
四、その他
平敷理事より、山種美術館オリジナルハンカチーフを事業部事業とし

て販売したい旨説明があり賛成され
る。次回理事会までに業者と話し合
う

- ・JAWW(日本女性監視機構)よ
り入会依頼があるが、お断りする
・ミキモトにダイアモンド会員(二
名)とサファイア会員(二七六名)
への記念品(案)を依頼中
・松本監事が「平成13年度京都府あ
けほの賞」、山崎元会長が「東京都第
13回福祉功労賞」を受賞された

理事会議事録

日時：平成13年11月17日(土)
午後1時より

- 場所：京王プラザホテル
出席者：橋本、石原、加藤、内潟、
大坪、澤口、清水、角田、平敷、丸
茂、村田、森川、山崎(ト)、山本(纈)、
吉崎、野澤、松本 (以上17名)
欠席者：橋川、青井、川田、鹿田、
田中、久田、松井、山崎(康)、山本
(時) (以上9名)
* 10月理事会議事録を承認
報告事項
一、庶務報告 清水理事
別紙どおり報告——承認

二、会計報告 森川理事
平成13年10月分収支別紙どおり報
告——承認
三、各部報告

- ・10月28日の「十代の性と健康指
導医養成講座」の報告
内容・講演者について日本女医会
主催である以上、今後は理事会で充
分検討後実施すべきとの意見があっ
た
・角田理事より11月10日東京都支部
連合会総会出席の報告
東京都支部連合会の総会は11月第
二土曜日と決定しているため、各種
行事はこの前後の週を避けてほしい
との要望があった

協議事項

- 一、百周年記念事業の件
【平敷理事より】
「百年史」に掲載するメッセージ
(一五〇words)をMWIAの会長、
事務局長、西太平洋地域担当副会長
に依頼
・京王プラザホテルとの話し合いは
今後、会計部理事が行う
・早急にICSと仮契約を行うよう
にすべきである
・MWIAの会長、事務局長に四〇
万円程度の現金と二泊三日のホテル代、
西太平洋地域担当副会長に三〇万円
と二泊三日のホテル代という提案、
討議したが結論がでないため12月理
事会の検討事項とする
・次回理事会までにICS・京王プ
ラザホテル・理事会のおの役割割
分担を決定する
【澤口理事より】
・宮内庁から返事がなく、可能性は
低いのではないかと懸念。12月に入
ったら橋本会長と宮内庁を訪問する
二、吉岡弥生賞、荻野吟子賞につい
て
現在の所、荻野吟子賞に推薦が一
件ある。吉岡弥生賞へも推薦を依頼
三、その他
・MWIA委員会入選について

理事会議事録

日時：平成13年12月15日(土)
午後3時より

- 場所：(社)日本女医会会議室
出席者：橋本、石原、青井、内潟、
川田、澤口、鹿田、清水、角田、平
敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、
山崎(康)、山本(時) (以上16名)
副会長(庶務部担当) 石原
清水
以上
一、百周年記念事業の件
【学術部】
・11月17日に開催された「平成13年
度学術講演研修会」は成功裡に終了
開催
【渉外部】
内閣府男女共同参画室主催「男女
共同参画グローバル政策対話」出席
の報告
【広報部】
山崎(康)理事
・「百年史」は順調に進行中
・会誌169号の割付会議は12月25日に
開催
【渉外部】
角田理事
・11月10日に宮野ビル三階に泥棒が
入り、女医会は現金約一〇万円が盗
まれた。丈夫な鍵に付け替え、今後
は現金はおかないように注意する
・石原副会長、青井理事と経団連
訪問の報告。免税措置のお願いをし
た方がよいとのアドバイスがあるが、
学会ではないので不可能となった。
学校法人として免税措置がとれる女

・次の学術部主催の講演会は次回理
事会で検討する
協議事項
一、百周年記念事業の件
【平敷理事より】
「百年史」に掲載するメッセージ
(一五〇words)をMWIAの会長、
事務局長、西太平洋地域担当副会長
に依頼
・京王プラザホテルとの話し合いは
今後、会計部理事が行う
・早急にICSと仮契約を行うよう
にすべきである
・MWIAの会長、事務局長に四〇
万円程度の現金と二泊三日のホテル代、
西太平洋地域担当副会長に三〇万円
と二泊三日のホテル代という提案、
討議したが結論がでないため12月理
事会の検討事項とする
・次回理事会までにICS・京王プ
ラザホテル・理事会のおの役割割
分担を決定する
【澤口理事より】
・宮内庁から返事がなく、可能性は
低いのではないかと懸念。12月に入
ったら橋本会長と宮内庁を訪問する
二、吉岡弥生賞、荻野吟子賞につい
て
現在の所、荻野吟子賞に推薦が一
件ある。吉岡弥生賞へも推薦を依頼
三、その他
・MWIA委員会入選について

平敷理事の作成の案について検討
し、異議なく承認。個人へはこれか
ら了承を得る
・職員賞与について
二、六ヶ月とする
・環境整備小委員会内規について
平敷理事、作成案について検討し
たが、今後充分に討議する
・橋本会長より
①ホームページを会員向けと一般
向けの両方を作成してはとの意見
②賛助会員を企業向けに募集して
はとの意見
③堂本千葉県知事より依頼のあっ
たJネット加入は会としてはし
ない
・事業部から
山種美術館のハンカチーフ販売は
業者とより検討してから次回理事
会に諮る

欠席者：加藤、橋川、大坪、田中、
久田、丸茂、山本(纈)、吉崎、野澤、
松本 (以上10名)
* 11月理事会議事録が承認される
報告事項
一、庶務報告 清水理事
別紙どおり報告——承認
二、会計報告 川田理事
平成13年11月分収支別紙どおり報
告——承認
三、各部報告
【事業部】
平敷理事
協議事項であった「山種美術館の
ハンカチ」は財政的な理由により中
止となった
【渉外部】
角田理事
内閣府男女共同参画室主催「男女
共同参画グローバル政策対話」出席
の報告
【広報部】
山崎(康)理事
・「百年史」は順調に進行中
・会誌169号の割付会議は12月25日に
開催
【学術部】
澤口理事
・11月17日に開催された「平成13年
度学術講演研修会」は成功裡に終了
開催
【渉外部】
角田理事
・11月10日に宮野ビル三階に泥棒が
入り、女医会は現金約一〇万円が盗
まれた。丈夫な鍵に付け替え、今後
は現金はおかないように注意する
・石原副会長、青井理事と経団連
訪問の報告。免税措置のお願いをし
た方がよいとのアドバイスがあるが、
学会ではないので不可能となった。
学校法人として免税措置がとれる女

説明があった
・記念事業実行委員組織図を検討
し、決定する
・決定された記念品の説明。百年
史・世界で最初の女医・記念品
・パンフレットを当日参加者に
差し上げる

- ②澤口理事より13日に宮内庁へ参
内の報告
③式典式次第(案)を基に、祝辞
を頂く来賓、祝辞所要時間、開式
の辞(石原副会長)・閉式の辞(加
藤副会長)、ダイアモンド会員(長
老で永年会員)・サファイア会員
(永年会員)の表彰の仕方等を検
討する。式開始は午後4時希望、
一時間で終了予定、伴奏は京王プ
ラザホテルに一律
④招待者
・招待状は1月理事会までに原案
を作成し、承認後即発送する
・招待者(案)を本日欠席役員に
FAXで問い合わせし、28日ま
でに返事をもらい1月初旬には
招待者を決定する
・代議士、医師会関係者等を式典
・祝賀会にどのような形で招待
するかICSに相談し検討する
橋本会長と松井理事が総理大臣、
厚生労働大臣へ、橋本会長と石
原副会長は医師会関係へお願い
に伺う。都知事等は未定

・青井理事より現在までの百周年
記念事業基金の状況の報告
収入：趣意書発送後の寄付金七、
七三二、〇〇〇円等(合計一三、
〇二六、七六五円)
支出：百年史等で一九、七三七、
〇二二円。サファイア・ダイア
モンド会員の記念品、京王プラ
ザへの支払い等は支出に含まれ
ておらず、今後多額の寄付によ
る収入が必要とされる
・橋本会長より日本製薬団体連合
会を訪問「まず経団連へ」との
忠告を受けた旨の報告。経団連
より免税可能な団体の紹介を受
ける
二、吉岡弥生賞、荻野吟子賞につい
て
現在の所、吉岡弥生賞(社会に貢
献)に一名、荻野吟子賞に推薦が一
名がある。選考委員会は2月理事会
開始前、午後2時から開催
三、その他
①平成13年度学術講演会について
今年度は開催しない
②北海道支部長・ス波先生よりの
提案
・評議員会出席の評議員へ支給の
一万円——賛成多数で現状維持
・各賞受賞者の旅費宿泊費につい
て——出席しなくとも受賞はで
きる。交通費は出さない
・東京総会開催時の三〇〇万円の

援助について——誤解であるの
で、庶務理事より返答する
・札幌女性史研究会との共同製作
「女医史」への補助について——
予算の関係で不可能
・以前質問のあったブロック別理
事選出について——個人の希望
による立候補による選挙である
からブロック別は無理との結論
以上、庶務理事が草案をつくり、
会長名で返答する
③賛助会員企業募集、年会費など
年会費一万円、何口でも。お礼
として日本女医会誌を年四回送付。
定款第7条により総会での決議が
必要なので、申込み企業を総会ま
でリストアップする。趣意書・申
込書を作成する
④乳房健康研究会より協賛の依頼
名前のみの協賛とする
⑤JCBカードより年会費の引き
落としの件
現在行っている「富士銀フアク
ター」では、コンピュータの買
い換えの必要性、手続きの複雑さ
等で不便である。JCBカードに
よる会費引き落としは手数料が一
件につき一八〇円で六〇円高くな
るがメリットが多いので年会費引
き落としの希望を会員に問い合わ
せる事に決定
⑥日本短波放送より番組出演の依

日本短波放送「薬学の時間」番
組に「十代の性と健康」をテーマ
に出演依頼があった。宮城支部会
員に打診する
⑦東京女子医大法医学教室より14
年10月に開催の「国際シンポジウ
ム」後援の依頼
名前のみの後援とする
⑧ケンコー情報Kの件
「人材バンク」事業の推進に向
けて「女医会バーチャル健康相
談室」の資料を次回理事会で検討
する
⑨理事会の開催日
来年度理事会開催日を別紙予定
日(案)を基に検討した。第三土曜
日あるいは第四土曜日と希望があ
るが、各月ごとに決定する

12月理事会議事録を承認
報告事項
一、庶務報告 清水理事
別紙どおり報告——承認
二、会計報告 川田理事
平成13年12月分収支別紙どおり報
告——承認
三、各部報告
【渉外部】
田中理事
・渉外部関係の会議に橋本会長の出
席が多く、それに対する謝辞があ
った
【広報部】
松井理事
・会誌169号校正会議を1月22日に終
了。百年史編纂委員会は2月1日に
開催
【渉外部】
田中理事
・1月10日に宮野ビル三階に泥棒が
入り、女医会は現金約一〇万円が盗
まれた。丈夫な鍵に付け替え、今後
は現金はおかないように注意する
・石原副会長、青井理事と経団連
訪問の報告。免税措置のお願いをし
た方がよいとのアドバイスがあるが、
学会ではないので不可能となった。
学校法人として免税措置がとれる女

理事会議事録

日時：平成14年1月26日(土)
午後3時より

- 場所：京王プラザホテル
出席者：橋本、橋川、石原、加藤、
大坪、川田、澤口、清水、鹿田、田
中、角田、久田、平敷、松井、村田、
森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(時)、
山本(纈)、吉崎、松本 (以上22名)
欠席者：青井、内潟、丸茂、野澤

理事会議事録

11月理事会議事録が承認される
報告事項
一、庶務報告 清水理事
別紙どおり報告——承認
二、会計報告 川田理事
平成13年11月分収支別紙どおり報
告——承認
三、各部報告
【事業部】
平敷理事
協議事項であった「山種美術館の
ハンカチ」は財政的な理由により中
止となった
【渉外部】
角田理事
内閣府男女共同参画室主催「男女
共同参画グローバル政策対話」出席
の報告
【広報部】
山崎(康)理事
・「百年史」は順調に進行中
・会誌169号の割付会議は12月25日に
開催
【学術部】
澤口理事
・11月17日に開催された「平成13年
度学術講演研修会」は成功裡に終了
開催
【渉外部】
角田理事
・11月10日に宮野ビル三階に泥棒が
入り、女医会は現金約一〇万円が盗
まれた。丈夫な鍵に付け替え、今後
は現金はおかないように注意する
・石原副会長、青井理事と経団連
訪問の報告。免税措置のお願いをし
た方がよいとのアドバイスがあるが、
学会ではないので不可能となった。
学校法人として免税措置がとれる女

子医大に協力依頼したい旨を諮り、承認を得る

・1月18日皇后陛下へご進講の報告。日本女医学会に大変ご興味を持たれ、質問も多くされた。ご要望で澤口理事より各賞受賞者一覧をお送りした

協議事項

一、百周年記念式典・祝賀会の件

・ICSとの契約は会長に一任する

・ICSの作成した招待状(案)を登壇者、一般招待者、ダイヤモンド会員、サファイア会員、一般会員別に招待状の内容・字句について検討

・医師会については日本医師会会長、各都道府県医師会会長に送付

・登壇者、祝辞依頼者は橋本会長が手持ち、その他は送付。招待者は毛筆書き招待状。会誌に「お知らせ」の同封は中止する

・ICSより報道関係十五社に広報依頼済み。じほう社「Japan Medicine」医学書院「週刊医学界新聞」へ掲載の快諾を得た

・緊急連絡の場合はFAX・メールを利用して理事に連絡する

・寄付金は現在のところ九、四一五、〇〇〇円集まっている。次回理事会まで理事個人としての寄付すべきおおよその額を出す。また、薬品会社から各支店決済で出せる範囲でのお祝い金をお願いする

二、平成14年度計画案および予算案

の件

次回理事会までに計画案・予算案を作成する

三、第47回定時総会(於東京)の件

5月19日、京王プラザホテルで10時より評議員会、13時より総会を開催。詳細は次回理事会で検討する

四、その他

①小委員会に関する内規の検討

平敷理事が校正済み(案)を次回理事会までに各自の意見をまとめる

②人材バンク事業の推進に向けてケンコー情報kgがメテカルトラスと代理店契約したこと承認

③岩波ホールから映画「平塚らいてふの生涯」への広報協力依頼があり、可能な協力をする

④女医会より推薦した川田仁子会

員(港支部)が読売新聞社主催医療功労賞地方部門で受賞された旨の報告。今後は会誌に応募要領を掲載し全国より候補者を募る事とする

⑤ミキモト作成のダイヤモンド・サファイア会員への記念品を決める

⑥百周年記念として、百年史・百周年記念出版物「世界最初の女性医師」女医会ロゴマーク入りの時計を会員に贈呈する

⑦石原会長より、「2004年開

催の国際女医会議の準備も兼ね京王プラザホテルに橋本会長の事務所を設置しては」との意見が出され、平敷理事が価格等を調査する

⑧橋本会長が国連NGO国内婦人委員会代表として3月10日から20日までエジプト・ジョルダンを訪問する

⑨厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課よりの「平成14年度児童福祉週間」への協力要請を受諾。「健やか親子21」幹事会第四課題グループ第二回会議へは出席不可能につき資料を請求する

以上

副会長(庶務部担当) 石原

鹿田、清水、久田、山本(時)

会員動静(敬称略)

◇新卒新入

福田 有佳 中 央

福田 有佳 練 馬

伊藤 幸子 東 女 学 内

鎌田ことえ 東 女 学 内

◇入 会

佐久間文子(平成5年卒) 北 海 道

若菜 勢津(平成5年卒) 埼 玉

大久保梨子(昭和33年卒) 栃 木

村山 和代(昭和56年卒) 千 葉

八幡 則子(昭和48年卒) 新 宿

望月 久美(平成7年卒) 神 奈 川

善方 裕美(平成5年卒) 神 奈 川
高田 良子(昭和45年卒) 富 山
◇退会会員数 14名

◇物 故

大橋 良子(昭和18年卒) 青 森
遠藤 房子(昭和9年卒) 福 島
松岡 宏子(昭和16年卒) 栃 木

集 記
編 後

通年は4月の入学式の前後に満開となる櫻が、春休み前から咲きはじめ、お彼岸のころには東京近辺ではいまや盛りと咲きそろってしまいました。

はやばやお花見気分となった私どもを待っていたのは、医療費改訂の大嵐でした。4月を迎えて町の医院の窓口では、患者さんへの説明などでかなりの時間が使われているようです。

さすがに最近では、宗男・真紀子の名前がマスコミに登場することは少なくなりましたが、今度は清美がしばしば登場しています。

もっともっとと大事な情報を新聞などのマスコミは、読者や視聴者の的確に伝えていかなければならないはずです。

医療の面では、新学期に入つたらずぐ施行されるツ反・BCG接

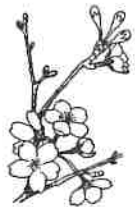
羽左田知子(昭和11年卒) 文 京
丸田 郁子(昭和60年卒) 東 女 学 内
矢島ゆき子(昭和17年卒) 都 下 西
清水 友代(昭和7年卒) 山 梨
紺谷久仁枝(昭和11年卒) 石 川
赤木 瑩子(昭和26年卒) 岡 山



種の記事も一社のみ掲載され、あとの方がありません。

いま執行部は5月の女医会百周年にむけて全力疾走しています。多大のご協力をお願いいたします。

(山崎康子)



日本女医学会誌
第170号

平成14年4月25日 発行

編集人 大坪公子
発行人 橋本葉子
制作 金剛出版

発行所 社団法人 日本女医学会

東京都渋谷区渋谷2-8-7
青山宮野ビル 電話 03-3498-0571
〒150-0002 FAX 03-3498-8769
http://www.jade.dti.ne.jp/~jmwa/
e-mail address: jmwa@jade.dti.ne.jp